

## みなさんに伝えたいこと

これで私たち司法書士の授業は終わりますが、これまで主に「契約」ということから、いろいろな場面でみなさんに考えてもらいました。

はじめは、パンを買う・ブランドの財布を売ったり買ったりする売買契約から、お金を借りる、クレジットを利用する契約、次は携帯・インターネットを通してする契約、働いて給料をもらう・会社やお店のために働いてもらって給料を支払うという労働契約というように、身近なところから、そしてこれからみなさんが経験していくことになる中にさまざまな契約が出てきます。

繰り返しになりますが、「契約」をすると何が出てくるのでした

権利と義務でしたね。

それぞれが権利を守り、義務を果たせば問題がないはずなんですが、実際はトラブルになる場合も多いです。

今日の授業であったようにトラブルになったり、なりそうな時に「あれっ」と感じ、「おかしいな」とか「なんか不公平」と思ったら、その感覚を大事にしてください。そして、何で「おかしいな」と思ったかを考えるようにしてください。

その時、考えるときの大事なポイントは、基(もと)はなにか、基本はどうなのかです。契約は、お互い自由な立場であるかしないかを選ぶことができるのが原則です。自由な立場で自分の意思で契約したからこそ、守らなければいけない、相手の権利を尊重し自分の義務を果たさなければいけないのです。

だから自由な立場でなかったら(強制されたり、脅されたり)、自分の意思でなかったら(騙されたり、じゃまされたり、ゆっくり考える時間がなかったり)、契約は成立していないんだから、無理に従ったりすることはしなくてもいいんです。こういったことが頭にあると(理解していると)、「おかしいな」と思った時に、悪質商法の手口じゃないのかと気付くこともできるようになります。

それと、労働の授業で触れたように、強い立場と弱い立場がある場合、弱い方はいいなりにならなければいけないのか、それっておかしい、不公平と感じたら、弱い方は自由な立場で選んだり交渉したりできないんだから、それを調整する・ハンディキャップ付けてくれる制度や法律があるかもと気付いてください。

そして、気付いたらもう一歩進んで、守ってくれる法律がないのかを調べたり、法律の専門家(弁護士や司法書士に)に相談したりしてください。

専門家に相談する時のポイントは、自分の相談したいことが言えているか(伝わっているか)、また、相手(専門家)が自分に分かるように話してくれているか、です。

わからない言葉とかがあったら聞き直したり、「分かるように説明してください」と勇気を出して言ってくださいね(一般の人には難しい言葉を当たり前のように使って説明したりすることもありますので)。

みなさんは、まだ未成年ですが、もうあと少しで成年となります。成年になると今まで制限されてきたことができたり(たばこ、飲酒等)しますが、それまで未成年ということで特に守られていたことがなくなります。トラブルに巻き込まれないように、また、トラブルにあった時にどうするか。

専門家への相談を含めて法律を使うということを考えてみてください。  
法律はトラブルを解決するためのツール(道具)だけでなく、トラブルが起これないようにするためのツール、トラブルに巻き込まれないための自分を守るためのツールにもなります。(実際にはトラブルになってしまったら元に戻したり、思い通りに解決することは難しいので、起これない、巻き込まれないようにする方がいいですよ。)

世の中のこと全てが法律で解決できるものでもありませんし、まだまだ必要なのに適した法律が無かったり、あっても今の時代や環境に合わない法律もありますが、法律を意識することはみなさんのプラスに必ずなります。

それではこれで私たちの授業を終わります。みなさんの前に立ってお話すること慣れていないので、これまで何を言っているのか分かりにくいことあったと思いますが、これまでの授業が一つのヒントとなってみなさんの頭の中に残っていてくれたらなと強く思います。